

新年度もよろしくお祈りします！



4月の自主事業

おしやつち event すけっと隊

2022年度すけっと隊募集!!

～あるけあるけグリーン活動～

4月24日(日) 9:30～11:00

※活動開始時間に変更になりました!

【集合場所】おしやつち入口アプローチ下

毎回コースを変えて、みなさまと楽しくお話ししながら地域の清掃活動を行っています!
どうぞお気軽にご参加ください♪

おしやつち event 坐禅体験会

4月30日(土) 9:00～

【会場】多目的ホール

【持ち物】座布団 【定員】20名★初回無料

【協力】大勝院 谷藤副住職

すっきりと爽快な気分や、非日常的な体験でリラックスしてみませんか♪

お知らせ

減免申請更新のお願い

2022年度の減免をご希望で、まだ申請がすんでいない場合はおしやつち窓口までお越しください。
※2021年度に減免申請をした場合も、改めて2022年度の申請をお願いします。

図書館 event 「こどもの読書週間」関連企画展 春だ! こどもの本まつり

4月1日(金)～5月12日(木)

第64回子どもの読書週間(4月23日～5月12日)の標語「ひとみキラキラ 本にどきどき」に合わせ、「第14回MOE絵本屋さん大賞」受賞作品を中心に、あたたかい春の到来を楽しんだり、わくわくお出かけしたくなる本などを展示します。

祝日開館 5月3日(火)から5月5日(木)は祝日開館します。
振替休館日は5月6日(金)です。

おしやつち写真館

おおつちおばちゃんくらぶ様が一年かけて制作された吊るし雛です!



おしやつち コラム 大槌町希望のピアノコンサート

西村由紀江さんのピアノコンサートを3月10日(木)に行いました。テレビ岩手のテーマソングである「あたらしい風」や復興を願った「朝日のあたる家」が演奏されました。コンサート後半は、町内で活動するキッズコーラスあぐどめさんと共演されました。小林亜星さんの「どこまでも行こう」や森山直太朗さんの「さくら」、「花は咲く」を美しい歌声で届けてくださいました。西村さんのお言葉がとても印象的でした。「おしやつちのオープニングセレモニーでこのピアノを弾きました。あの時と比べてピアノの音色が違います!なんだか音が開かれているような。これまでいろんな人に弾いてもらって、「ここが私の居場所」とこのピアノが感じているのかもしれないね」
これからもたくさんの方々はこのピアノを弾いていただき、ピアノや皆さんに幸せを感じてもらえたら嬉しいです。
(スタッフ佐野)



おしやつちのご予約について

ネットから便利! ご自身で、予約、変更、キャンセルができます。 ※初回だけ簡単なアカウント登録が必要です。

<https://www.oshacchi.com/>

おしやつち SNS フォローお願いします!

おしやつちの ライン公式アカウント

イベント情報や、イベント参加者様へのご案内を配信します♪

大槌町文化交流センター Tel.0193-27-5181

図書館 event 読み聞かせ会

4月9日(土) 11:00～

【場所】3階ミーティングルーム

【協力】大槌町図書ボランティア このゆびとまれ

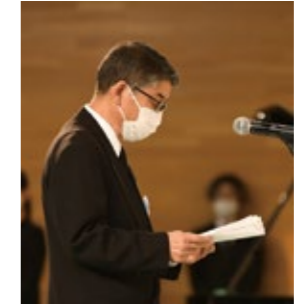
※新型コロナウイルス感染症の拡大により、各種イベントが中止になる場合があります。図書館のフェイスブックなどでお知らせします。

休館日のご案内 毎週火曜日、第3木曜日(4/21)
※4月29日(金)は祝日のため、18時閉館となります。

図書館 Tel.0193-42-7226

3月11日 岩手県と大槌町で東日本大震災津波合同追悼式

3月11日(金)、東日本大震災津波岩手県・大槌町合同追悼式が開催されました。式典には遺族や来賓約150名が参列し、黙祷をささげ、一人ずつ献花を行いました。遺族代表の芳賀俊明さんは「11年経った今でも、後悔と寂しさがこみ上げてくる。東日本大震災を風化させず、次の世代に伝えていくことが、全国で発生している様々な自然災害で、私と同じ思いをする人を一人でも減らし、次の世代の未来を守ることに繋がると信じている」と追悼の言葉を述べました。



追悼の言葉を述べた芳賀俊明さん



この他、町内では、NPO・ボランティア団体連絡協議会により御社地公園に3.11の文字をかたどった灯火が並べられるなど、各地で追悼の祈りが捧げられました。



3月17日 「防災まちづくり大賞」大槌高校復興研究会が総務大臣賞を受賞

大槌高校復興研究会定点観測班が、第26回(令和3年度)防災まちづくり大賞において、最高位となる総務大臣賞を受賞しました。この賞は、地域に根ざした多様な主体における防災に関する優れた取り組みなどを表彰し、災害に強い安全なまちづくりを推進することを目的としており、9年間にもわたる定点観測などの写真撮影や、防災紙芝居などの伝承の取り組みが評価され、今回の受賞となりました。研究会では、大槌町内の約180地点を、年3回同じ場所同じ角度から撮影し復興の変化の記録として撮り続け、町や大学、工事関係者などとも協力しながら、地域と一体となって活動を続けてきました。3月17日(木)、2年生の照井姫歌さん(写真左)と小林瑚々さんが(写真右)町長へ受賞を報告し、町に活用してほしいと撮影した写真データを手渡しました。照井さんは「先輩たちの継続や、町の方々の協力のおかげ。町に関心を持つことができた」と話し、小林さんは「活動が形になってうれしい。後輩たちにもつないでいきたい」と今後の活動への意欲を語りました。



3月22日 教育振興へ寄付金 釜石地区法人会

東日本大震災津波以降、被災した学校などに対し支援を行っている公益社団法人釜石地区法人会より、吉里吉里学園中学部に寄付金が贈呈され、3月22日(火)、贈呈式が行われました。釜石地区法人会からは、令和元年度にも大槌学園や図書館などへ寄付をいただいています。これらの寄付は、それぞれの学校などの教育振興のための基金に充てられ、備品購入など子どもたちの教育のために使われます。



3月24日 新1年生へ黄色い通学帽をプレゼント

3月24日(木)、釜石地区交通安全協会大槌支会と、あいおいニッセイ同和損保様から、この春入学する町内の新1年生に対し、黄色い通学帽などが贈られました。帽子を受け取った沼田教育長は「毎年黄色い帽子を贈呈いただき大変感謝している。子供たちが黄色い帽子を被ることにより、事故発生の抑制につながる。町としても、安心・安全な通学を出来るよう見守りを進めていきたい」と話しました。この帽子は、新入学児童に手渡され、登下校の安全確保に役立てられます。

